



特定非営利活動法人

日本オリンピックズ協会

団体概要

設立経緯

2003年3月

任意団体として発足

2007年1月

特定非営利活動法人格（NPO）取得

代表者

2003年～2013年

竹田 恆和（馬術）

2013年～2023年

鈴木 大地（競泳）

2023年～

小谷 実可子（アーティスティックスイミング）

1988ソウル大会 銅メダル

1992バルセロナ大会

協会の目的

1. オリンピアン相互の親睦

5,000名を超える日本のオリンピック同士の理解と親睦を深める

2. オリンピック・ムーブメントの推進

世界オリンピックズ協会（WOA）の一員としてオリンピズムの価値を広める

3. 社会貢献

スポーツを通じた世界平和と国際的友好親善に貢献

4. 国内スポーツの振興

日本国内のスポーツ全体の振興に寄与

事業紹介

オリンピック巡回指導事業

全国各地でオリンピックが直接指導するスポーツ教室を通じ、青少年の健全育成とオリンピックムーブメントの推進を図っています。



機関紙「OAJNews」の発行

OAJやWOAの活動報告やオリンピックの情報などを伝えるニュースレターとして情報発信を行っています。
(年1回発行)



WOA Grants 事業

WOAが設ける助成金事業に対し、OAJが国内オリンピックの申請窓口となり、活動をサポートしています。



オリンピックの集い

オリンピック同士の交流やオリンピックに関する情報発信などを目的に、懇親イベントを定期的で開催しています。



OLY プレゼンテーション

IOCに認められたオリンピックのみが掲げることのできる称号「OLY」の授与とその認知向上に努めています。



会員管理事業

オリンピックの各種情報の管理・更新を行っています。

現状の課題と第4期基本計画への期待

✓ オリンピアンネットワークの構築

- ・ 5,000名を超える国内オリンピックのうち、会員数は2,000名強
- ・ 引退後のオリンピックとの接続は、NFでも困難

スポーツに関わる人々のネットワーク推進・活用



✓ オリンピアンが活動できる場の拡大

- ・ 現在、年10地域程度へオリンピックを派遣
- ・ オリンピアン出身地やキャリア等と紐づいた活動には未達

スポーツに触れる／楽しく／高みを目指すための種まき



✓ オリンピアンの価値向上

- ・ WOAへ社会貢献活動の紹介
- ・ 引退後のキャリアを充実させるようなサポートは未実施

学校教育・社会と紐づいた学び – 発信の機会

